

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		総合センター維持管理事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	3	教育の健幸		所属部	教育委員会事務局	課長名	渡辺 良輔
	施策	10	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	清原 展彦
	業務分野	37	生涯学習施設(環境)の整備		所属班	生涯学習班	(内線)	1506
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 2	事業連番	10837	法根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 9 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	総合センター「ヴィーブル」の維持管理事業。平成7年11月に総合センターが開館し、旧合志町における生涯学習施設の一大拠点となり、施設の維持管理が必要になった。生涯学習、生涯スポーツの一大拠点として、多くの市民に利用され、あるいは全国大会規模の屋内スポーツや県内屈指の文化ホールを利用した催し物など、スポーツや文化芸術面での振興に果たした役割は大きい。一方で建築後25年を経過しており、設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に施設の補修・機器の更新を行う必要がある。
【業務の流れ】	総合センターの維持管理に係る各種の契約事務、各所の工事管轄、事務用機器の賃貸借、備品や消耗品、燃料の補給などを行い、市民の要望に応じた利用しやすい施設環境を整える。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費)、役員費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

【目的】市民の連携と交流を図り、明るく住みよい近隣社会の形成を目的として、合志市総合センターを設置する。  
 【内容】施設利用者が総合センターを快適に利用できるよう維持管理を行う。  
 【実績】総合センターに消防用設備保守点検業務委託、電気工作物保守点検業務委託、昇降機保守点検業務委託、清掃管理業務委託、樹木管理業務委託、舞台吊物装置保守点検業務委託、舞台照明設備保守点検業務委託、舞台音響設備保守点検業務委託、警備業務委託、自動ドア保守点検業務委託、空調機械保守点検業務委託、文化会館運営管理業務委託、建築設備定期検査業務委託、特殊建築物検査業務委託、来客用マットリース、券売機リース、施設修繕を行った。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

空調機械保守点検業務委託、清掃管理業務委託、施設予約端末保守業務委託、券売機保守業務委託、電気工作物保守点検業務委託、建築設備定期検査業務委託、特殊建築物検査業務委託、昇降機保守点検業務、自動ドア保守点検業務委託、警備業務委託、文化会館運営管理業務委託、舞台吊物装置保守点検業務委託、舞台照明設備保守点検業務委託、舞台音響設備保守点検業務委託、来客用マットリース、券売機リース、電気設備改修工事

③予算の主な増減の理由

【拡充事業】総合センター電気工作物改修工事実施による工事請負費の増

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 利用団体数	団体	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
成果指標	ア	団体	6,756	9,693	7,000	9,027	7,000	7,000	7,000	7,000	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	43							
		地方債	千円	315,500	460,100	2,300	2,200	198,000		7,700	77,000
		その他	千円	13,249	12,699	14,304	17,210	11,626	11,626	11,626	11,626
		繰入金	千円				661				
		一般財源	千円	122,794	138,923	93,195	90,300	103,658	90,818	94,118	123,818
(A)事業費計		千円	451,586	611,722	109,799	110,371	313,284	102,444	113,444	212,444	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

既に完了した災害復旧工事の中で、電灯のLED化やトイレの洋式化など、施設設備の一部改修が完了している。しかし、未改修の設備の経年劣化が進んでおり、計画的な施設整備を行っていく必要がある。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)